

(町報にかえて)

発行所 森吉町役場
電話 四四・六四番
印刷所 産業新報社
電話 一〇八番

三ヶ町村合併 勸告書

森吉・阿仁・上小阿仁

新市町村建設促進法才二告は左記の趣旨であるか見やすい方法により公表...

議事録をめぐって

町長施政方針

昭和三十一年十一月九日於町議会

今回の町長選挙に於て私。不肖の身を以て町民大多新しき森吉町の施行に...

議会の足跡

昭和三十一年十一月七日

臨時会、会議録抄

一、應招した議員左の通りである
二、出席議員は左の通りである

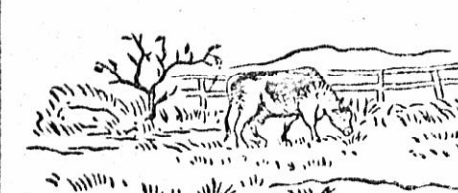
町に話合するようにと課長は言るので事務的に進められている以上、概要を報告する
一、議長
二、議員

村づくり格言集より

先人の教数十訓(二百餘條外)
この秋は雨あらししかにとつて後の不幸を見知らねども今日のつと場合もある。幸福にた



町合併に関する計画
北秋田郡森吉町
阿仁町
上小阿仁村



議會の顔振れ

議長 奥田安太郎
副議長 高田俊三
●印委員長

一、総務常任委員
齋藤鉄雄
梅津勘治郎
春日多助
木村謙一郎
櫻井佐七
奥田安太郎

一、文教、社会常任委員
●石川榮太郎
高田俊三
野村文治郎
御所野野久治
柴田七太郎

一、産業經濟常任委員
佐藤新太郎
橋本新一郎
庄司徳太郎
石崎成一
櫻井佐吉

一、土木常委員
●春日一嘉
佐藤喜三郎
新林誠一郎
武石東藏
武石仁市
磯谷仁吉

委員 庄司得治
副委員長 木村泰二
委員 八巻幸一
委員 山田豊右
教育長 田村正一

森吉町役場
電話 米内沢局 四四・六四番
電話 前田局 一〇・四八番

町長 金庄
副町長 木村
収入役 木村
助役 庄司
助役 木村

財政係長 土佐伸一
戸籍兼消防係 高田リキ子
戸籍兼登録係 藤安治
戸籍兼衛生係 藤安治
國保係 信一
土地整理係 藤安治
使丁 赤石千代吉

課長 秋元佐市郎
書記 北林祐太郎
書記 春日田耕作
書記 柴田千代吉
書記 柴田千代吉

課長 菅原道雄
技師 奥山光義
書記 久住與助
書記 白沢禮藏
書記 柴田三郎

支所長補佐 藤正一郎
書記 清水孔次郎
書記 森川末藏
書記 山重治
書記 國千代

支所長 清水常松
書記 加賀利男
書記 庄司しん一
書記 柴田修治
書記 金豊助

臨時雇 春日鉄之助
森吉町教育委員会
教育長 田村正一
書記 庄司善男
書記 松橋カヅ
書記 岩沢功

森吉町公民館
主事 金與惠門
主事 金與惠門
主事 岩沢功

議案綴より
一、特に目にとまつた五つ
「其一」議案第十八号起債するものとす
財政再建計画の承認を求め昭和三十三年三月五日提出
昭和三十二年三月五日提出
昭和三十二年三月五日提出

農家の皆様へ
稲の三早栽培これからの管理
発芽から移植まで
水稲のビニール育苗はよう。
森吉町の実施面積一・四
五〇坪に及びその殆どが二葉が揃う迄の管理
播種を終り既に発芽を見発芽揃後夫々十分日光に
作りに相注意を拂いあつることと床の中に十
不順な天候にも拘らず一分酸素を供給することが
一般に良好な発芽揃いであつたのである。

支所長補佐 藤正一郎
書記 清水孔次郎
書記 森川末藏
書記 山重治
書記 國千代

森吉町公民館
主事 金與惠門
主事 金與惠門
主事 岩沢功

議案綴より
二、起債金額一五・五〇六、据置期間
昭和三十二年一ケ年
昭和三十二年一ケ年
昭和三十二年一ケ年

農家の皆様へ
米内沢地区農業委員会
米内沢地区公民館
前田地区公民館

農家の皆様へ
米内沢地区農業委員会
米内沢地区公民館
前田地区公民館

支所長補佐 藤正一郎
書記 清水孔次郎
書記 森川末藏
書記 山重治
書記 國千代

机上の書籍より
地方自治小六法
昭和三十二年版學務局
地方自治法總則 P一八
（地方公共団体の事務
の決定又は變更）
昭和三十二年四月八日提出
昭和三十二年四月八日提出
昭和三十二年四月八日提出

机上の書籍より
地方自治小六法
昭和三十二年版學務局
地方自治法總則 P一八
（地方公共団体の事務
の決定又は變更）
昭和三十二年四月八日提出
昭和三十二年四月八日提出
昭和三十二年四月八日提出

机上の書籍より
地方自治小六法
昭和三十二年版學務局
地方自治法總則 P一八
（地方公共団体の事務
の決定又は變更）
昭和三十二年四月八日提出
昭和三十二年四月八日提出
昭和三十二年四月八日提出

机上の書籍より
地方自治小六法
昭和三十二年版學務局
地方自治法總則 P一八
（地方公共団体の事務
の決定又は變更）
昭和三十二年四月八日提出
昭和三十二年四月八日提出
昭和三十二年四月八日提出

支所長補佐 藤正一郎
書記 清水孔次郎
書記 森川末藏
書記 山重治
書記 國千代